2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	スポーツ人材強化・育成事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約	「一流」を見て、聴いて、学ぶ	公約達成年次	2020年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
町内で活動する各種スポーツ団体（少年団、各種競技団体）の構成員並びに指導者に対する適正な指導や研修会等への参加機会を設け、スポーツ活動に関わる人材の育成と町民が参加可能なスポーツ活動の充実を図る。

2. 対象(何を対象にしているか)
町民及び各種スポーツ活動団体の構成員

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
スポーツ活動に携わる人材（競技者、指導者）の育成とそれに係る支援を行い、町のスポーツ活動の充実を図る。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
町民にとって健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	研修会、各種教室の実施回数	回
②	研修会、各種教室への延べ参加者数	人
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	少年団員数・体育会会員数	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	指導者登録数	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			1,000,000			
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円		175,026	1,878,788	586,000	586,000	586,000
		一般財源	円	0	3,003,837	4,602,201	6,893,000	6,893,000	6,893,000
		事業費計(A)	円		3,178,863	7,480,989	7,479,000	7,479,000	7,479,000
	人件費	正職員従事人数	人		2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工		0.0425	0.0957			
		人件費計(B)	円	0	331,413	767,366			
	トータルコスト(A+B)		円	0	3,510,276	8,248,355			
活動指標	①		回		2	7	7	7	7
	②		人		145	699	699	699	699
	③								
対象指標	①		人		2,111	2,031	2,031	2,031	2,031
	②								
	③								
成果指標	①		人		99	98	98	98	98
	②								
	③								
上位成果指標	①		%		66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
・北海道十勝スカイアースや北海道日本ハムファイターズなど道内で活動する競技団体との連携関係を結び、それぞれが有する特色を生かしたスポーツや健康、観光などをテーマとする事業を実施する。
・地域おこし協力隊による活動を通し、少年団や中学校部活動における指導者不足等の課題を抽出し、支援に向けた方策の検討、研修会の開催等を行う。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)
・道内で活動するプロスポーツ団体が有するノウハウを活かし、スポーツや健康、食と観光などをテーマとした町民参加型の事業を実施する。
・少年団、部活動における指導者の発掘・確保に向けた支援、指導者を対象とする研修会等の開催。
・地域おこし協力隊による中学校部活動訪問、少年団活動の聴き取り調査による課題の抽出と支援策の検討。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	ゲートボール協会運営支援事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約	発祥の地ゲートボールの普及振興	公約達成年次	2022年

簡易シートを選択した理由

- ☑ 予算を伴わない事業
- ☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業
- ☐ 法定受託事務
- ☐ 政策体系に結びつかない事業
- ☐ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業

〔事業の概要・現状・課題〕

町内のゲートボール競技者等により組織され、競技だけでなくゲートボールの普及振興を進めているゲートボール協会の活動を支援するために、事務局業務の一部を担う。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕

ゲートボール発祥の地である芽室町での活動を支えるため、競技団体としてだけではなく、競技の普及、啓発活動を担うゲートボール協会の活動を支援する。
町や各関係団体が行うゲートボールの普及活動にも協会の協力を得るなど、地域全体でゲートボールの普及啓発を進める。
一方で、協会員の高齢化などにより会員数の減少が進行しており、将来的な競技人口の変動を見据え、若年層への競技普及を図る必要がある。
なお、事務局がその機能を担うことも求められているが、一競技団体としての活動を行う側面もあることから、他団体との均衡を図るためにも現在の体制を維持する必要がある。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0289	0.0312	0.0294			
		人件費計(B)	円	224,829	243,296	235,742			
	トータルコスト(A+B)		円	224,829	243,296	235,742			

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	ゲートボール普及活動事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約	発祥の地ゲートボールの普及振興	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
広くゲートボールを普及することを目的として、特に青少年や少年団、青年層への普及活動を行い、高校でのGB活動への支援、クラブの設立を支援する。

2. 対象(何を対象にしているか)
町民及び少年団等団員

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
青少年にゲートボールを普及し、次代を担う競技者の育成が図られるとともに、手軽なスポーツとして定着が図られる。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	ゲートボール教室開催回数	回
②	全町大会参加者数	人
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	町民	人
②	少年団・GBクラブ数	団体
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	高校生以下のゲートボール競技人口	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	720,933	622,003	826,401	796,000	796,000	796,000
		事業費計(A)	円	720,933	622,003	826,401	796,000	796,000	796,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.2416	0.2229	0.2489			
		人件費計(B)	円	1,879,543	1,738,164	1,995,792			
	トータルコスト(A+B)		円	2,600,476	2,360,167	2,822,193			
活動指標		①	回	43	43	33	46	46	46
		②	人	207	192	188	0	200	200
		③							
対象指標		①	人	18,660	18,540	18,430	18,430	18,430	18,430
		②	団体	2	2	2	2	2	2
		③							
成果指標		①	人	13	17	22	22	22	22
		②							
		③							
上位成果指標		①	%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
		②							
		③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
全国的にゲートボールの競技人口が減少傾向にあり、将来的な競技の普及振興を図るためにも青少年や成年層への普及が必要と考える。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)
ベテランから初心者まで参加可能な全町大会を継続し、若い世代も競技に触れることができる機会を設けるともに、町内や帯広市内の高校ゲートボール部に対する支援を継続して行う。また、町内小中学校でのゲートボール体験実施を呼び掛け、若い世代の競技者獲得、少年団活動への参加者の増加につなげる。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	スポーツ少年団活動支援事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
単位スポーツ少年団で構成される少年団本部に対し、補助金の支出と少年団本部の事務を担う。

2. 対象(何を対象にしているか)
少年及びスポーツ活動団体

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
少年団に加入し、スポーツ活動を行う。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
少年のスポーツ活動が活発となり、保護者のスポーツ活動に対する姿勢も積極的になる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	町民	人
②	活動団体	団体
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	少年団団員数	人
②	加盟団体数	団体
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	団員数／町民	%
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円			50,000	150,000	50,000	50,000
		一般財源	円	1,807,000	2,319,864	2,167,295	2,161,000	2,261,000	2,261,000
		事業費計(A)	円	1,807,000	2,319,864	2,217,295	2,311,000	2,311,000	2,311,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2		
		人工数(業務量)	人工	0.1518	0.1511	0.1537			
		人件費計(B)	円	1,180,938	1,178,271	1,232,436			
	トータルコスト(A+B)		円	2,987,938	3,498,135	3,449,731			
活動指標		①	人	18,660	18,540	18,430	18,430	18,430	18,430
		②	団体	19	19	19	19	19	19
		③							
対象指標		①	人	664	651	653	660	660	660
		②	団体	19	19	19	19	19	19
		③							
成果指標		①	%	4	3	3	3	3	3
		②							
		③							
上位成果指標		①	%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
		②							
		③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
少年スポーツの普及と発展のために組織された少年団本部の事務的な支援を行い、本部活動の推進を図る必要がある。
また、指導者のなり手不足が深刻化している。

2. 今後の取組（2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法）
地域おこし協力隊が行なった各単位少年団からの聴き取り調査に基づく活動上の課題を整理し、町としての支援の在り方や指導者を対象とする研修機会を設けるなどの支援を行う。
また、認定指導者制度が変更となり、指導者資格を取得するために経費が必要となり、更新制度も設けられたことから、それらに対する支援策の検討と並行して、新たな指導者の発掘に向けた方策を検討する。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	スポーツ賞等授賞式典開催事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
体育レクリエーションの健全な普及発展に貢献のあったものや大会において優秀な成績を修めた個人及び団体に対して賞を贈り、これを顕彰及び奨励する。

2. 対象(何を対象にしているか)
10年以上にわたりスポーツ振興に貢献した個人及び団体
上位スポーツ大会の優勝又は入賞した個人及び団体

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
日頃の練習成果を発揮したことに対する功績と長年のスポーツ振興への貢献を称え、更なるスポーツ振興への一助とする。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
スポーツ活動が活発となり、上位成績者が増え、選手及び後援者が全体としてスポーツに対する姿勢がより積極的になる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	受賞回数	回
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	個人	人
②	団体	団体
③	受賞者数（個人＋団体受賞者数）	人

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	全町民	人
②	受賞者数（個人＋団体受賞者数）／全町民	%
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境の整った町と思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	193,654	224,218	308,368	292,000	292,000	292,000
		事業費計(A)	円	193,654	224,218	308,368	292,000	292,000	292,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.1091	0.1096	0.1055			
		人件費計(B)	円	848,751	854,656	845,946			
	トータルコスト(A+B)		円	1,042,405	1,078,874	1,154,314			
活動指標	①		回	1	1	1	1	1	1
	②								
	③								
対象指標	①		人	74	77	92	90	90	90
	②		団体	21	12	21	20	20	20
	③		人	193	186	228	200	200	200
成果指標	①		人	18,660	18,540	18,430	18,430	18,430	18,430
	②		%	1.03	1.00	1.23			
	③								
上位成果指標	①		%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
競技者への顕彰を継続して行い、町のスポーツの振興を図るとともに、選抜選手として国際大会を含む上位大会に出場する事例への対応を検討する必要がある。

2. 今後の取組（2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法）
選抜により国際大会を含む上位大会に出場した町民の授章取扱いに関する議論をスポーツ推進委員、社会教育委員の各種審議会議論を行い、教育委員会に諮り決定する。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	スポーツ推進委員会運営事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
住民のスポーツ振興に関して町が行う社会体育、スポーツ振興事業の企画や推進を図るため、スポーツ団体の育成や教育関係機関、その他行政機関、スポーツ団体の事業に対して必要に応じて実技指導及び助言等の協力を行う。

2. 対象(何を対象にしているか)
スポーツ推進委員

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
町民のスポーツ、レクリエーションの普及振興を図るために求められている資質向上のため、研究、協議、連絡を図るとともに実践していく。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
町民意とって健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	各種会議等の実施回数	回
②	延べ参加人数	人
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	スポーツ推進委員数	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	延べ参加率（参加人数／実施回数）	%
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	219,337	166,602	274,078	406,000	406,000	406,000
		事業費計(A)	円	219,337	166,602	274,078	406,000	406,000	406,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0863	0.0872	0.0851			
		人件費計(B)	円	671,376	679,981	682,370			
	トータルコスト(A+B)		円	890,713	846,583	956,448			
活動指標	①		回	3	2	3	3	3	3
	②		人	20	12	25	30	30	30
	③								
対象指標	①		人	10	10	10	10	10	10
	②								
	③								
成果指標	①		%	66	60	83	100	100	100
	②								
	③								
上位成果指標	①		%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
スポーツは広く国民に浸透し、スポーツを行う目的が多様化するとともに競技技術の向上やスポーツによる国際交流や貢献の活発化などスポーツを巡る環境の変化に対応することを目的に平成23年度にスポーツ基本法が制定された。
法律の制定により国は自治体の責務やスポーツ団体の努力等を明らかにするとともにスポーツに関する施策の基本となる事項が定められた。
かつての体育指導員についても、法律の中でスポーツ推進委員に代り、町のスポーツに係る体制整備を図ることとなり、町のスポーツに関する施策の審議やスポーツ推進委員によるスポーツ活動への参画が求められる。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)
スポーツ推進委員の活動として、町のスポーツ行政や施策に関する審議以外に、推進委員による町や地域のスポーツ活動への積極的な参画機会を創出する。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	チャレンジデー実施事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

運動を始めるきっかけづくりとして、5月の最終水曜日の午前0時から午後9時の間に15分以上運動した人の数を集計し、他の自治体とその参加率を競うチャレンジデー事業を実行委員会を組織して実施する。

2. 対象(何を対象にしているか)

町民

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

町民が日常的に運動すること、もしくは運動するきっかけづくり

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

町民の日常的な運動への取り組み、運動習慣の獲得

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	実施日数	日
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	町民	人
②	基準日（2月1日）の人口	人
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	参加人数	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	参加率（参加人数／基準日の町民数）	%
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	173,811	215,829	220,180	236,000	236,000	236,000
		事業費計(A)	円	173,811	215,829	220,180	236,000	236,000	236,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.1320	0.1219	0.1595			
		人件費計(B)	円	1,026,903	950,570	1,278,943			
	トータルコスト(A+B)		円	1,200,714	1,166,399	1,499,123			
活動指標		①	日	1	1	1	0	1	1
		②							
		③							
対象指標		①	人	18,660	18,540	18,430	18,430	18,430	18,430
		②	人	18,923	18,731	18,452	18,452	18,452	18,452
		③							
成果指標		①	人	11,640	11,276	10,917	0	10,917	10,917
		②							
		③							
上位成果指標		①	%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
		②	%	61.5	60.2	59.2	0.0	59.2	59.2
		③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

平成22年度から体育会や少年団本部、スポーツ推進委員などからなる実行委員会を組織して事業を実施している。チャレンジデーの目的である「運動するきっかけづくり」としての取り組みであることを町民に対して改めて周知するとともに、今後も継続して運動に取り組むための機運づくりに努める必要がある。

2. 今後の取組（2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法）

チャレンジデーの目的である「運動するきっかけづくり」としての取り組みであることを町民に対して改めて周知するとともに、今後も継続して運動に取り組むための機運づくりに努めていく必要がある。
2020年度はコロナウイルスの影響で中止となった。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	芽室町体育会運営支援事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
町体育会は町内の各種スポーツ団体が加入しており、団体間の連絡調整や各団体への支援を行っている。また、スポーツに関する調査研究や町民のスポーツ振興、健康増進のための活動を行う。

2. 対象(何を対象にしているか)
体育会会員

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
自らのスポーツ活動を継続するとともに町民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るための研修、事業を行う。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
町民にとって健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続することができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	町民	人
②	活動団体数	団体
③	登録団体数	団体

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	体育会会員数	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	体育会会員数／町民	%
②	活動団体数／登録団体数	%
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	700	700	703	1,000	1,000	1,000
		一般財源	円	1,922,300	1,922,300	1,914,297	1,914,000	1,914,000	1,914,000
		事業費計(A)	円	1,923,000	1,923,000	1,915,000	1,915,000	1,915,000	1,915,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0809	0.0818	0.0851			
		人件費計(B)	円	629,367	637,872	682,370			
	トータルコスト(A+B)		円	2,552,367	2,560,872	2,597,370			
活動指標	①		人	18,660	18,540	18,430	18,430	18,430	18,430
	②		団体	22	22	22	22	22	22
	③		団体	22	22	22	22	22	22
対象指標	①		人	1,598	1,460	1,378	1,378	1,378	1,378
	②								
	③								
成果指標	①		%	8.5	7.8	7.5	7.5	7.5	7.5
	②		%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	③								
上位成果指標	①		%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
加盟団体の中には役職者や指導者の高齢化による後継者不足や登録者の減少により事業の停滞が感じられるようになってきた。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)
加盟団体における指導者や後継者不足が進行傾向にあることから新たなリーダーの発掘・育成に取り組む必要がある。また、町内少年団や中学校部活動に所属する児童生徒を対象としたクリニックを北海道スカイアースや北海道日本ハムファイターズなど町と協力関係を結ぶ道内で活動するプロスポーツ団体に講師を依頼し、町のスポーツ振興の活性化に向けた取り組みを行う。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	各種大会出場支援事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
優秀な成績を修め、各種全国・全道大会等に参加出場する町民に対し、その経費の一部を助成し、自主的なスポーツ活動を奨励する。
また、少年団の大会出場支援として年1回に限りバスの借上を行う。

2. 対象(何を対象にしているか)
十勝地区大会で上位入賞し、全国、全道大会等への出場権を獲得した町民(団体参加者は出場登録人員とする)。また、バス借上げは単位少年団を対象とする。

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
練習の成果を計る機会である大会に出場しやすくする。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
多くの町民が上位大会に出場することで、町全体の競技レベルの向上につながる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	助成申請のあった大会数	大会
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	全町民	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	助成対象者	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	6,478,537	5,819,972	8,733,520	4,832,000	4,832,000	4,832,000
		事業費計(A)	円	6,478,537	5,819,972	8,733,520	4,832,000	4,832,000	4,832,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.1156	0.1176	0.1276			
		人件費計(B)	円	899,318	917,039	1,023,154			
	トータルコスト(A+B)		円	7,377,855	6,737,011	9,756,674			
活動指標	①		大会	37	51	80	80	80	80
	②								
	③								
対象指標	①		人	18,660	18,540	18,430	18,430	18,430	18,430
	②								
	③								
成果指標	①		人	168	147	192	192	192	192
	②								
	③								
上位成果指標	①		%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
競技技術の向上により全道、全国など国内大会はもとより、選抜や推薦を受けるなどして国際大会への出場機会を得る町民も見られるようになった。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)
高校生の全国大会の補助金の在り方及び補助金対象団体の拡充の検討を行い、近隣市町村の動向を確認をする。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	学校施設（体育館）開放事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段（事業の概要）
生涯スポーツの推進を図るため、町内の小中学校の屋内体育館を学校教育活動に支障のない範囲で町民に開放する。

2. 対象（何を対象にしているか）
町民

3. 意図（この事業によって、対象をどのようにしたいか）
スポーツを実践できる場を増加させる

4. 結果（意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか）
町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標（手段や活動内容を表す指標）		単位
①	開放施設（学校）数	施設
②	延べ学校開放日数	日
③		

6. 対象指標（対象の大きさを表す指標）		単位
①	延べ利用者数	人
②	延べ利用日数	日
③		

7. 成果指標（意図の達成度を表す指標）		単位
①	一日当たりの利用者数	人
②	利用率（利用日数／開放日数）	%
③		

8. 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他（使用料等）	円						
		一般財源	円	252,000	252,000	252,000	252,000	252,000	252,000
		事業費計（A）	円	252,000	252,000	252,000	252,000	252,000	252,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数（業務量）	人工	0.0080	0.0080	0.0194			
		人件費計（B）	円	62,237	62,384	155,558			
	トータルコスト（A+B）		円	314,237	314,384	407,558			
活動指標		①	施設	7	7	7	7	7	7
		②	日	608	593	639	639	639	639
		③							
対象指標		①	人	7,674	6,868	6,542	6,542	6,542	6,542
		②	日	380	399	381	381	381	381
		③							
成果指標		①	人	20	17	17	17	17	17
		②	%	63.0	67.2	59.6	59.6	59.6	59.6
		③							
上位成果指標		①	%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
		②							
		③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
学校開放事業は夜間利用を中心とし、総合体育館や健康プラザの利用希望者が希望する施設を利用できない際に当事業を利用していることから、現在の利用水準を維持するものと考えられる。

2. 今後の取組（2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法）
学校開放事業について町内スポーツ競技団体や未利用団体、PTA等に周知を行い、学校教育活動に支障を来たさない範囲での利用促進を図る。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	十勝体育団体協議会参画事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成年次	
簡易シートを選択した理由	☐ 予算を伴わない事業 ☐ 政策体系に結びつかない事業	☑ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 ☐ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	☐ 法定受託事務

〔事業の概要・現状・課題〕

十勝管内の町村体育会等で組織される団体で、本町の体育会も構成員となっている。
協議会では、スポーツに関する事業を企画実施するとともに、加盟団体が実施する事業に支援及び連絡調整を行う。
また、スポーツ振興について各市町村に対し建議を行う。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕

十勝体育団体協議会事業をつうじて、本町のスポーツ振興に資する情報収集や研修会等への参加を継続して行う。3種目（卓球、ミニバレー、パークゴルフ）による開催となった協議会主催事業である「十勝管内スポーツ交流会」に町内体育会加盟団体からの参加を促すために各団体に対して継続して情報提供を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	17,700	17,700	17,900	18,000	18,000	18,000
		事業費計(A)	円	17,700	17,700	17,900	18,000	18,000	18,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0150	0.0159	0.0212			
		人件費計(B)	円	116,693	123,987	169,991			
	トータルコスト(A+B)		円	134,393	141,687	187,891			

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	地域体育館維持管理事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約	公共施設等総合管理計画の推進	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

閉校となった学校体育館、グラウンド等を地域の体育施設として活用している。管理運営については地域の団体と公共パートナー協定を締結している。

2. 対象(何を対象にしているか)

町民

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

町民の健康増進や地域活動のための地域体育館の利用を促す。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

町民が地域体育館を利用するっことによって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	施設数	施設
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	町民	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	延べ利用者数	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	127,368	109,572	132,222	108,000	108,000	108,000
		一般財源	円	790,538	803,712	857,145	892,000	892,000	892,000
		事業費計(A)	円	917,906	913,284	989,367	1,000,000	1,000,000	1,000,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0413	0.0421	0.0473			
		人件費計(B)	円	321,296	328,294	379,273			
	トータルコスト(A+B)		円	1,239,202	1,241,578	1,368,640			
活動指標	①		施設	4	4	4	4	4	4
	②								
	③								
対象指標	①		人	18,660	18,540	18,430	18,430	18,430	18,430
	②								
	③								
成果指標	①		人	1,969	1,541	1,967	1,900	1,900	1,900
	②								
	③								
上位成果指標	①		%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

閉校となった学校体育館、グラウンド等を地域体育施設として活用。施設の管理に関しては地域社会教育協会や行政区と公共パートナー協定に基づき委任している。
いずれの施設も経年劣化による老朽化が進行しているが、現状では町として大規模な修繕や改修の計画を持っていないことから、今後は町の公共施設等総合管理計画との整合性や地域合意に基づき今後の施設の取扱いについて協議する必要がある。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)

町の公共施設等総合管理計画や地域合意に基づき、将来的な施設の在り方について協議を行うする。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	町営スケートリンク造成維持管理事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
芽室中学校グラウンドに公式規格である400mスケートリンクを造成する。

2. 対象(何を対象にしているか)
町民、町民を中心とするスポーツ団体等

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
不足しがちな冬期間のスポーツの場の提供。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	施設数	施設
②	開場日数	日
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	延べ利用者数	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	1日当たりの利用者数	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	2,786,400	3,717,741	3,888,690	4,146,000	4,146,000	4,146,000
		事業費計(A)	円	2,786,400	3,717,741	3,888,690	4,146,000	4,146,000	4,146,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0823	0.0713	0.0831			
		人件費計(B)	円	640,258	555,994	666,333			
	トータルコスト(A+B)		円	3,426,658	4,273,735	4,555,023			
活動指標	①		施設	1	1	1	1	1	1
	②		日	52	43	30	50	50	50
	③								
対象指標	①		人	15,600	15,600	11,200	15,600	15,600	15,600
	②								
	③								
成果指標	①		人	300	362	373	300	300	300
	②								
	③								
上位成果指標	①		%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
スケートリンクの造成にあっては町スケート協会に造成維持管理業務を委託するとともに、委託業務開始時、シーズンン終了後の協会との協議を行いながら、施設の造成・維持管理の充実を図る。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)
令和元年度の取り組みを継続する。スケート協会との協議を行いながら、施設整備・維持管理にあたっての対応の充実を図っていく。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画施策番号	2-2-2		
事務事業名	発祥の地ゲートボール合宿等実施事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約	発祥の地ゲートボールの普及振興	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

全国ジュニアGB選手権大会出場経験を持つ道外高校GB部を合宿に誘致し、地元高校チームとの交流事業を通じてジュニア世代(高校生)へのGB競技普及と技術向上を図る。

2. 対象(何を対象にしているか)

合宿事業に参加した高校生

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

参加校同士の交流を通じてGB競技の技術向上と普及を図る。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

GB発祥の地として、GBが身近な競技であると感じられる環境づくりを行い、競技の普及拡大を図る。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	合宿事業参加高校数	校
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	参加者数	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	町内の高校生以下の競技者数	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	1,026,057	1,126,330	326,001	876,000	876,000	876,000
		事業費計(A)	円	1,026,057	1,126,330	326,001	876,000	876,000	876,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0423	0.0614	0.0531			
		人件費計(B)	円	329,076	478,794	425,780			
	トータルコスト(A+B)		円	1,355,133	1,605,124	751,781			
活動指標		①	校	4	4	1	0	4	4
		②							
		③							
対象指標		①	人	38	28	7	0	28	28
		②							
		③							
成果指標		①	人	13	17	22	22	22	22
		②							
		③							
上位成果指標		①	%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
		②							
		③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

ゲートボールの競技人口が減少傾向にある中で、高校生以下の年齢層への競技普及を強化し、ゲートボールをより身近に感じられるような土壌づくりを行い、将来的な競技の普及拡大につなげていく必要がある。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)

高校選手権大会出場経験を持つジュニア世代(高校生)への競技普及を継続するとともに、地元の小中学生がゲートボールを体験する機会を設け、将来的な競技者の育成と競技の普及拡大を図る。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	スポーツ人材強化・育成事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約	「一流」を見て、聴いて、学ぶ	公約達成年次	2020年

◆ 事務事業の目的と効果

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

1. 手段(事業の概要)
町内で活動する各種スポーツ団体（少年団、各種競技団体）の構成員並びに指導者に対する適正な指導や研修会等への参加機会を設け、スポーツ活動に関わる人材の育成と町民が参加可能なスポーツ活動の充実を図る。

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	研修会、各種教室の実施回数	回
②	研修会、各種教室への延べ参加者数	人
③		

2. 対象(何を対象にしているか)
町民及び各種スポーツ活動団体の構成員

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	少年団員数・体育会会員数	人
②		
③		

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
スポーツ活動に携わる人材（競技者、指導者）の育成とそれに係る支援を行い、町のスポーツ活動の充実を図る。

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	指導者登録数	人
②		
③		

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
町民にとって健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			1,000,000			
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円		175,026	1,878,788	586,000	586,000	586,000
		一般財源	円	0	3,003,837	4,597,777	6,893,000	6,893,000	6,893,000
		事業費計(A)	円		3,178,863	7,476,565	7,479,000	7,479,000	7,479,000
	人件費	正職員従事人数	人		2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工		0.0425	0.0957			
		人件費計(B)	円	0	331,413	767,366			
	トータルコスト(A+B)		円	0	3,510,276	8,243,931			
活動指標	①		回		2	7	7	7	7
	②		人		145	699	699	699	699
	③								
対象指標	①		人		2,111	2,031	2,031	2,031	2,031
	②								
	③								
成果指標	①		人		99	98	98	98	98
	②								
	③								
上位成果指標	①		%		66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
・北海道十勝スカイアースや北海道日本ハムファイターズなど道内で活動する競技団体との連携関係を結び、それぞれが有する特色を生かしたスポーツや健康、観光などをテーマとする事業を実施する。
・地域おこし協力隊による活動を通し、少年団や中学校部活動における指導者不足等の課題を抽出し、支援に向けた方策の検討、研修会の開催等を行う。

2. 今後の取組（2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法）
・道内で活動するプロスポーツ団体が有するノウハウを活かし、スポーツや健康、食と観光などをテーマとした町民参加型の事業を実施する。
・少年団、部活動における指導者の発掘・確保に向けた支援、指導者を対象とする研修会等の開催。
・地域おこし協力隊による中学校部活動訪問、少年団活動の聴き取り調査による課題の抽出と支援策の検討。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	屋外体育施設維持管理事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約	・社会教育施設の長寿命化 ・温水プールの改築と総合体育館周辺施設の再整備の検討	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

芽室公園野球場、芽室公園運動広場（ソフトボール場１面特設）、芽室町南多目的運動広場、アーチェリー場、芽室南公園運動広場、芽室公園庭球場（6面うち1面は壁打ち用）、芽室南公園庭球場（ハード3面、クレイ３面）、東工業団地北１公園PG場、芽室南PG場、芽室町サッカー場１面、芽室西運動広場の維持管理を行う。

2. 対象(何を対象にしているか)

町民、スポーツ団体等

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

町民及び各種スポーツ団体のメンバー等がスポーツ活動を実践することができる。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

町民が体育施設を利用することによって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続することができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	施設数	施設数
②	会場日数	日
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	延べ利用者数	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	開場日１日当たりの利用者数（PG場除く）	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	654,410	34,992,005	551,700	1,124,000	1,124,000	1,124,000
		一般財源	円	33,487,898	91,065,374	56,325,866	37,825,000	37,825,000	37,825,000
		事業費計(A)	円	34,142,308	126,057,379	56,877,566	38,949,000	38,949,000	38,949,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.2242	0.2291	0.2340			
		人件費計(B)	円	1,744,178	1,786,511	1,876,317			
		トータルコスト(A+B)	円	35,886,486	127,843,890	58,753,883			
活動指標		①	施設数	11	11	11	11	11	11
		②	日	197	195	198	198	198	198
		③							
対象指標		①	人	30,189	35,568	27,684	27,684	27,684	27,684
		②							
		③							
成果指標		①	人	153.2	182.4	139.8	139.8	139.8	139.8
		②							
		③							
上位成果指標		①	%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
		②							
		③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

町民の運動志向の高まりとともに、取り組むスポーツも多様化し、より快適で安全な体育施設の設置、維持管理、整備が望まれている。平成３０年度には芽室公園野球場の大規模改修工事と平成２８年度の台風被害を受けた美生川河川敷PG場の災害復旧工事を行うなど施設整備事業を実施。今後、温水プール建替基本計画の策定と並行し、既存プール跡地の活用も含めた町内の屋外体育施設全体の整備に係る基本構想を策定した。

2. 今後の取組 （2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法）

芽室町営水泳プール建替基本計画と連動し、周辺施設を含む屋外体育施設全体の整備に向けて、施設の現状把握と分析、競技団体との意見交換、財源確保に向けた調査、跡地利用の検討（駐車場、庭球場、運動広場の整備）、勤労青少年ホームの取扱いや芽室公園・南運動公園庭球場の整備の方向性及び町天然記念物の取扱いの検討、施設整備計画の策定を行う。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	温水プール維持管理事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約	・社会教育施設の長寿命化 ・温水プールの改築と総合体育館周辺施設の再整備の検討	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
温水プールの維持管理を行う。

2. 対象(何を対象にしているか)
町民、スポーツ団体

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
町民にとって健康づくりやスポーツ実践を気軽に行うことができる環境を整備する。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	施設数	施設
②	開館日数	日
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	延べ利用者数	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	1日当たりの利用者数	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	3,884,142	3,858,701	3,761,354	3,835,000	3,835,000	3,835,000
		一般財源	円	46,246,501	47,087,662	49,168,467	48,362,000	48,362,000	48,362,000
		事業費計(A)	円	50,130,643	50,946,363	52,929,821	52,197,000	52,197,000	52,197,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.1210	0.1260	0.1170			
		人件費計(B)	円	941,327	982,542	938,159			
	トータルコスト(A+B)		円	51,071,970	51,928,905	53,867,980			
活動指標		①	施設	1	1	1	1	1	1
		②	日	281	278	283	283	283	283
		③							
対象指標		①	人	47,933	47,035	44,728	44,728	44,728	44,728
		②							
		③							
成果指標		①	人	170.5	169.1	158.0	158.0	158.0	158.0
		②							
		③							
上位成果指標		①	%	70.8	661.0	83.6	95.0	95.0	95.0
		②							
		③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
開館から29年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、平成26年度に施設の改修計画に向けた設計委託業務を実施し、平成27年度に町民からなる検討会議での議論を踏まえ教育委員会としての施設改修に関する基本方針をまとめた。平成30年度にはこの基本方針を踏まえ、町として施設建替基本構想を策定した。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)
平成30年度に策定した「町営水泳プール建替基本構想」に基づき、施設の整備方針、規模や建設位置、事業費やそれに伴う財源、事業手法等をまとめた基本方針を策定し、基本構想で方向性を示したDBO方式による施設建替を見据えた要求水準書、募集要項等を作成し、プロポーザル審査委員会を設置し、業者選定を行う。また、温水プールの建替と並行して既存の温水プール跡地の利用や周辺施設の土地利用について、町全体の社会体育施設の整備に関する検討を行う。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	健康プラザ維持管理事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
健康プラザ（アリーナ、研修室、資料室等）の維持管理を行う

2. 対象(何を対象にしているか)
町民、スポーツ団体等

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
競技スポーツだけでなく体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
町民にとって健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	施設数	施設
②	開館日数	日
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	延べ利用者数	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	一日当たりの利用者数	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	1,758,784	1,605,435	1,449,433	1,681,000	1,681,000	1,681,000
		一般財源	円	9,737,391	10,667,655	10,626,843	10,610,000	10,610,000	10,610,000
		事業費計(A)	円	11,496,175	12,273,090	12,076,276	12,291,000	12,291,000	12,291,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.1182	0.1213	0.1156			
		人件費計(B)	円	919,545	945,892	926,933			
	トータルコスト(A+B)		円	12,415,720	13,218,982	13,003,209			
活動指標		①	施設	1	1	1	1	1	1
		②	日	361	361	361	361	361	361
		③							
対象指標		①	人	38,657	35,536	35,772	36,000	36,000	36,000
		②							
		③							
成果指標		①	人	107	98.4	99.0	99.7	99.7	99.7
		②							
		③							
上位成果指標		①	%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
		②							
		③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
ゲートボールを中心に通年で様々な競技に利用されている。特に冬期間はゲートボールやテニス、フットサルだけではなく野球など屋外競技の冬期間の練習場としての利用実績を持つ。また、平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備したアリーナ人工芝の維持管理や長寿命化に努めるとともに、懸案事項となっている天井部分からの雨漏への有効な対策を検討する必要がある。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法)
平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備したアリーナ人工芝の長寿命化を図るため、保護用砂の散布を実施するとともに、天井部分からの雨漏への有効な対策を検討し、施設全体の長寿命化に向けた課題の解決を図る。

2020 年度 （ 2019 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画施策番号	2-2-2

事務事業名	総合体育館維持管理事業	所属部門	社会教育課 スポーツ振興係
町長公約	温水プールの改築と総合体育館周辺施設の再整備の検討	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
総合体育館(第1･2競技場、トレーニング室、研修室等)の維持管理

2. 対象(何を対象にしているか)
町民、スポーツ競技団体等

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
町民にとって健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整備する。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 施設数	施設
② 開館日数	日
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 延べ利用者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 1日当たりの利用者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費･指標等の推移

内訳			単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国･道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	5,677,565	5,267,294	5,351,031	5,360,000	5,360,000	5,360,000
		一般財源	円	57,066,334	47,883,525	48,151,236	53,555,000	53,555,000	53,555,000
		事業費計(A)	円	62,743,899	53,150,819	53,502,267	58,915,000	58,915,000	58,915,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.1725	0.1740	0.1629			
		人件費計(B)	円	1,341,975	1,356,844	1,306,205			
	トータルコスト(A+B)		円	64,085,874	54,507,663	54,808,472			
活動指標		①	施設	1	1	1	1	1	1
		②	日	348	349	350	349	349	349
		③							
対象指標		①	人	91,049	89,323	85,126	90,000	90,000	90,000
		②							
		③							
成果指標		①	人	261.6	255.9	243.2	257.0	257.0	257.0
		②							
		③							
上位成果指標		①	%	70.8	66.1	83.6	95.0	95.0	95.0
		②							
		③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
経年劣化の改善や耐震性向上のため平成24年度に改修工事を実施し、以降、計画的に施設備品や施設の整備を実施。施設災害発生時の町の避難施設に指定されていることから平成26年度にバイオマス発電設備を設置し災害時の利用に備え、日常的に運転を継続している。

2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性･課題の解決方法)
社会体育施設指定管理者と情報共有を図り、今後も計画的な施設整備、備品整備を行っていく。また、隣接する温水プール建替に係る基本計画を策定する中で、温水プールと総合体育館の連絡方法や利用者の動線、既存の温水プール施設跡地利用を検討する中で周辺の屋外体育施設の整備と連動し、総合体育館周辺の将来的な土地利用の方向性を検討する。